

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表（全体） たんぽぽ長嶺

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%	20%		利用人数が多い際は、公園等の利用を行い室内人数が多くなりすぎない様工夫している。 動と静のエリア区分けをしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	40%	60%		配置数はクリア出来ている。 個別担当児童が複数利用の際に、職員の配置が難しいと感じる事がある。 送迎時間が重なり一時的に不足する時間以外は適切と思われる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	40%	60%		テーブル席の椅子を子供自身で動かす事が困難なことがある。 感覚過敏の声の音刺激の面で改善が必要かと思われる。 室内での段差はなく、躓きが起こりにくい環境。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	60%	40%		事業所会議、朝礼、所内勉強会等を通し改善を意識して行っている。 PDCAの意識はあると思うが、実行していくための時間確保や定期的な話し合いの場が必要。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%		アンケート調査を行い、事業所会議で話し合い改善を検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	60%	40%		ホームページで公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		60%	40%	現在できていない。外部評価による業務改善の機会が今後課題。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%		研修会情報を共有し、定期的に参加している研修もある。 事業所内研修（勉強会）の機会を設けている。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%	保護者ニーズ、モニタリングを周知し担当者会議等での事案を踏まえて立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60%	40%	室内の過ごしを把握したうえでモニタリングを作成、支援計画作成や支援を行っている。 今後標準化されたツールによる評価が出来るよう検討している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%	毎朝の朝礼や支援会議で活動内容を検討している。 休日のプログラムについて職員間で話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	60%	40%	児童の過ごしをモニタリングしたうえで、児童に合った活動を取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	60%	40%	児童の思いや保護者のニーズを把握したうえで課題を設定している。 平日の余暇活動のパターン化しないように、また遊びを見つけ辛い児童のために今後も工夫や支援を今後も行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%	個別課題や集団活動課題を把握し、日ごろの過ごしや支援を通じてモニタリング作成し支援会議で情報共有し作成している。 個別や集団と記載し取り組めることを組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		朝礼で本日の活動内容を検討し、職員の配置や役割を決めている。 当日の支援について話し合いを行いノートに記入することで振り返り及び、非常勤職員にも伝わるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	20%	その日の活動や支援方法を振り返り、情報共有している。 送迎の為重要、緊急性の高い内容に関しては当日中に、他支援の振り返りに関しては次の日の朝礼で行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	40%	60%	支援記録をとり朝礼の支援会議を通し検証、改善を行っている。 記録の書き方についての研修や読み返しをもっと行えればと思う。また記録を活用し支援を改善していけるようにしたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		最低半年に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。 支援会議を定期的、必要児童は不定期随時で話し合いの場を設けている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	80%	20%	朝礼でガイドラインの読み合わせを行い、沿っているのか確認する場を設けている。 多彩な活動プログラムを準備できるよう季節感のある政策や室内での運動遊びの提案、お手伝いを通した生活動作の支援等を行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%		児童発達支援管理責任者と担当職員で参加することがほとんどである。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	60%	40%		送迎時に情報共有を行っている。送迎でのトラブルは速やかに連携をとり対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	20%	80%		現在該当者がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20%	60%	20%	今後相談員と情報ツールを設定し情報共有に努めます。移行支援シートの活用や支援会議が行えればと思う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	20%	60%	20%	現在該当者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	40%	20%	年に数回の研修を受けているが、連携をとれてはいない。支援の難しさが感じられる児童について連携が取れればと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20%	20%	60%	コロナの為、交流が難しい。 現在交流の機会はないが、今後検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		40%	60%	現在参加できてない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			送迎時や連絡帳を通して日ごろの状況を共有を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		60%	40%	うまく行っている支援等の助言や、自宅で取り組んでほしい内容はお伝えしている。 ペアレント・トレーニングでの支援は行えていない。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約、見学時に保護者様にお伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%		共感や傾聴の姿勢を大切に、送迎時や電話等で応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		60%	40%	予定は組んでいたが、コロナの為中止となった。今後もコロナの状況をみながら、会の検討予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情があった際は管理者、対応者が迅速に対応している。苦情報告書を他事業所間でも共有し、再発防止に取り組んでいる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			毎月発信。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			個人情報の漏洩がないよう、取り扱いに注意を払っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	40%	60%		児童にわかりやすく、家族の方へも伝わりやすく意識しながら配慮している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		60%	40%	今後の課題。コロナ禍もあり出来ていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	20%	80%		保護者周知まで至っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年間活動予定で定期的実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			定期的に勉強会を開き、意識している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%		保護者様へ同意を頂き、計画書への記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	60%		現在医師の指示書が出ている児童はいないが、保護者へ向けアレルギー調査票を記入いただき職員へ周知している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%		ヒヤリハット報告書にて共有している。様式の簡易化も検討。